



四百六十九

大何も

小糸 佐七 絲櫻 可山作 春亭画

前編



貞画 巳の春

九文版

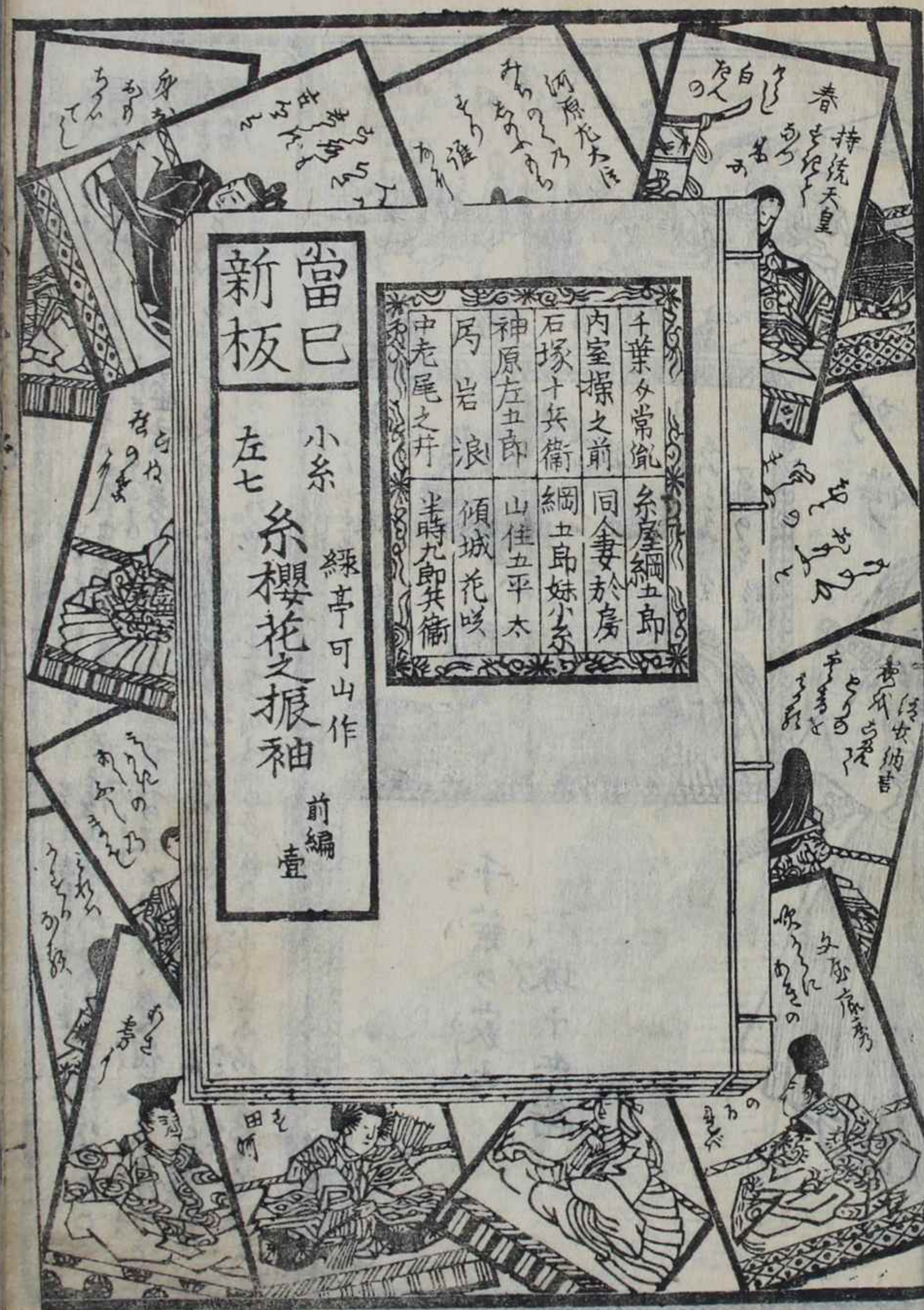


国 特別 1965

国 24 4



小系 佐七 系 櫻花
 延振袖 前帙
 勝川 春亭 画 文壽堂上様
 緑亭 可山 作



出常子

糸屋娘小糸

凡あぐて

千葉の家士
石塚十兵衛

娉
婷

低子

身電

棠

可山人錄

千葉藩士 神原 左五郎

後記
 大正
 七年

綱糸
五屋

五郎 女房

於房





華 硯 萬 福



盡是

并州

旋俠兒

可山録

手葉の家
山住五平太

任俠半時九郎兵衛



十八町

秀に

里あ

花

乙由

後陽成

夕のうね

あふね

頼け

可言

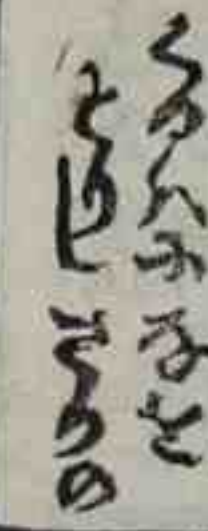
咲太夫
浦屋三磯大

[illegible][illegible]

ふじきあか
いそつ子のうて
いざなひねが
そとらいつやが
久のひといひも
つかみかへし
りつわさ
あつた
ひさまきめ
家つゝあま
となをひる
ともりの
そのその
ひなせひ
とうちや
のいかにん
が元の
そがこ
うちこんど
くももくはも
あてあまひのか
たかひふにうと中
かくてうとあてりよひな
れあがけん大のそのろふ二
かとのゆえんうきう
たけの
東の
まぐさ
せん

[illegible][illegible][illegible]

○廿二日同以名もたき
しとてあつきのいとし
あひ中のふるまふ

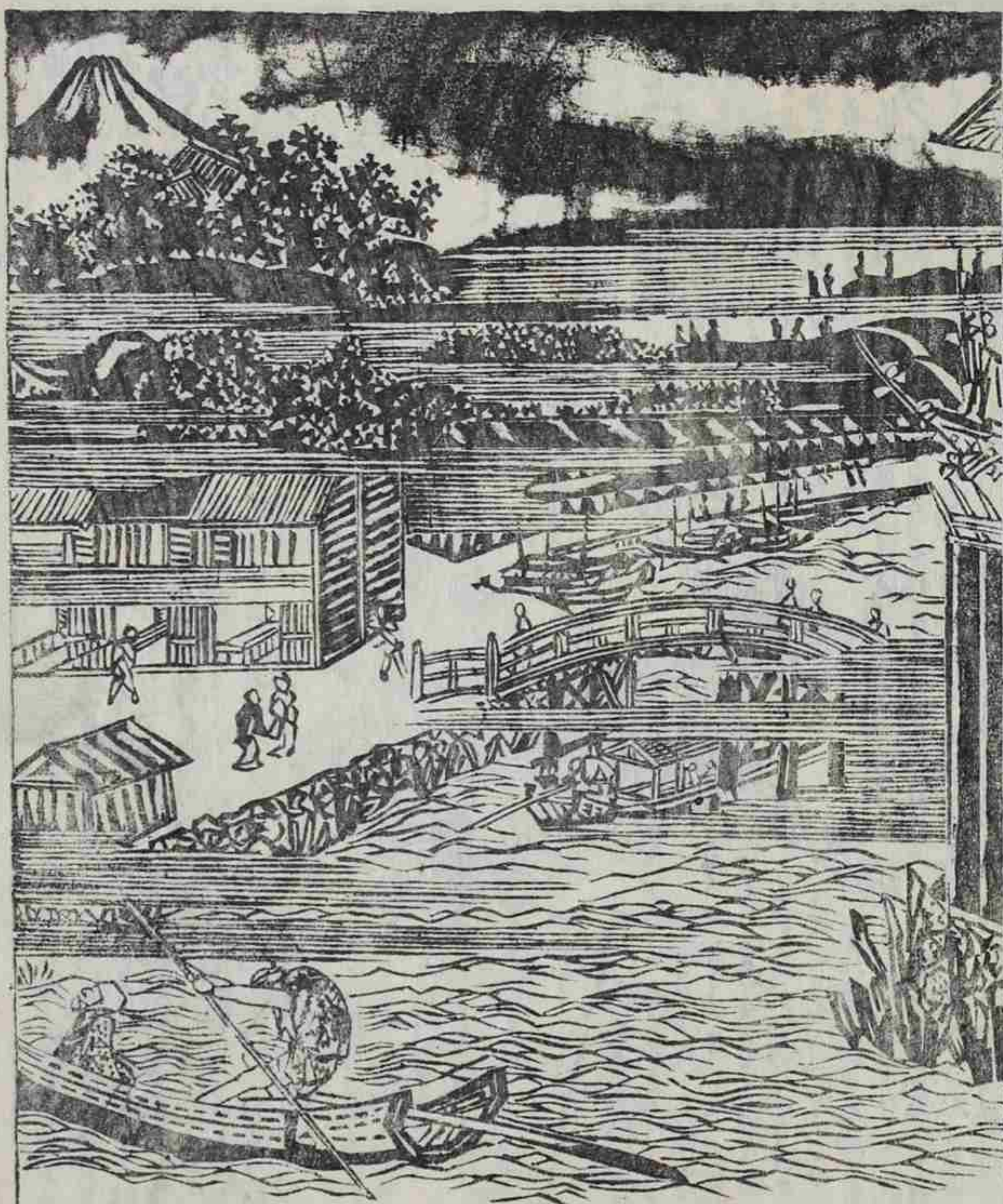


●あつちの
こころうんがわな
られぬいふむとこ
のやうにであつた
くらひなるじゆど
のむかへはやくも
かんりのやうひ

大へく



九



ちとすあ
よとすあも
ありやいの
うそやふ
さつてのふ
さくのつか
かりやく
くもりとも
うろく人
らざとも
まぶしく
いかるや
そめこれに
おれさまの
どくかた
とどきどき
うこれぞ
でもあつ
とあらめ
えんけつに
らきよじ
をさかく
そうめん
りどごと
あはれ
みわども
あひま
くわり
と

[illegible]

[illegible]

結分





文
圖書
年度

文
L
3